ひかりのこ

4月園便り

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2025年4月8日

「ご入園、ご進級おめでとうございます」

3月に年長さんや、転園のお友達と涙涙のお別れをしたばかりですが、もう4月。
2025年度がやってきました。

ご入園、御進級の皆様、おめでとうございます。ご入園の皆様、ようこそミカエルへ。ミカエル幼稚園を選んでいただき、ありがとうございます。定員105名の小さな認定こども園ですが、愛情いっぱいの先生たちばかりであることが、一番の自慢です。どうぞ安心して、お子様をお預けください。幼児期をミカエルで過ごすことが、子どもたちの心の栄養になりますように。

先日、3人のお子様を園に通わせていただいた、卒園児のお母様からお手紙をいただきましたので一部をご紹介します。

「我が家が初めてミカエルにお世話になったのは、もう10年も前になります。ミカエルを選んだきっかけは、何度もお電話をかけた時に、どの先生方も優しく応対してくださったからです。…

ミカエルではたくさんの絵本や温かいおもちゃに出会うことができました。うちの子どもたちは本が大好きになり、そこからいろんな世界を知り、皆それぞれに知識を広げています。・・子どもだけでなく、私も母親として育ててもらった10年だったと思います。先生だけでなく、サークルや役員のお仕事を通してたくさんの先輩お母さんや同世代、世代の違うお母さん方と出会い、いろんなことを共有し合ったり教えてもらったりしてきました。何もかも初めてで、手探りだった長男の時は子育てを大変に思うこともありましたが、今では子どもたちそれぞれの個性を楽しみながら子育てをできるようになりました。…」

こちらこそ、卒園されたお子様の保護者の皆様、お引越しのため転園されたご家族との出会いに、感謝しかありません。本当にお会いできて、共に子育てができて良かったと思います。

子どもたちは、幼稚園でたくさんのお友達と信頼できる大人に出会います。そして、それは保護者の皆様も同じです。同じ園の仲間として、私たち職員と力を合わせて、子どもたちを育てていく。子どもが育つだけでなく、私たち大人も、様々な素敵な魅力がある方々に出会い、言葉を交わす中で、育てられていくのです。

さあ、新学期。また新しい出会いが待っています。保護者の皆様、どうぞたくさんの人とつながってください。お話をして下さい。子どもたちのために、ご自分のために。

園長　渡部　良子

キリスト教保育

「せかい」

絵本作家・ヨシタケシンスケ先生の絵本『もしものせかい』を読んだことはありますか？
主人公の「きみ」の前に、突然、箱のような体をした不思議な生き物（おそらくきみの大切なおもちゃ）が現れ、自分はもうすぐ「もしものせかい」へ行ってしまうと告げます。そこから、「きみ」の生きている「いつものせかい」と、他の人には見えない「もしものせかい」を行き来する物語が始まります。「もしものせかい」は、ひとりひとりの心の中でゆっくりと大きく成長し、「いつものせかい」で生きる力へと育っていきます。
ミカエル幼稚園では、子どもたちが、この世界には、目には見えない「せかい」があることを聖書のお話や日々の祈りの習慣などを通して感じてもらいたいと願っています。この「せかい」は、子ども達の成長と共に、それぞれの中で、より豊かに、より複雑で繊細なものに育っていくことでしょう。そして自分だけに見えている「せかい」が、きっと「いつものせかい」で生きていくために必要な場所となると信じて、保護者の皆さまと共に見守っていきたいと願っています。ご入園、ご進級おめでとうございます。

チャプレン　司祭　上平　更